



うちのイチ押し!

令和2年度

地域こども体験学習事業

大阪市内で、こどもの健全育成を目的に活動している団体に、豊かな体験活動を提供します。

伝統芸能、ものづくり、スポーツ、芸術など、メニューは60種類以上! これまでも、多くの団体からご好評をいただいております。市内の団体の活動場所に、プロ、もしくは高度な技術を持った専門講師を、無料で派遣します。

また、こどもの体験とあわせて、おとなのミニ研修も実施していただけます。こちらも子どもと同じメニューから選択でき、楽しみながら地域の教育力アップをめざします。



新型コロナウイルス感染症防止の対策をしっかりと行った上で実施します。

会場の条件や準備についてなど、ご協力をよろしくお願いいたします。

まずはご相談ください。団体のご要望に沿って、ていねいに対応し、実現に向けて、一緒に考えます。

※実施数には限りがありますので、早めにご相談ください。プログラム選択についてのご相談も承ります。

実施期間 令和2年9月1日～令和3年2月28日(予定)
受付は利用前月の1日まで。

実施時間帯 火曜～日曜 午前9時から午後5時(年末年始は休業)
おとなミニ研修は夜間の実施も可能です。ご相談ください。

実施場所 大阪市内(屋外のプログラムの場合、雨天時に実施できる会場を準備してください)

費用 無料(会場や駐車場にかかる費用、必要な教材費実費は団体でご負担ください)

対象 幼児(3歳～)小中学生と、その保護者等、子どもを中心に約10名以上の参加が見込まれる大阪市内の団体
※営利、宗教、政治活動、学校行事、児童いきいき放課後事業、公共施設での事業ではご利用いただけません。

申込・問合せ ホームページをご利用ください。
ひらがなで「ちいきこどもたいけん」と検索してください。

申込・問合せ

(一財)大阪教育文化振興財団 青少年事業課 〒541-0055 大阪市中央区船場中央4丁目1-10-203

電話 4963-3254 FAX 6263-1444 E-mail: kodomo-kirakira@kyoiku-shinko.jp ホームページ: <https://www.kodomo-kirakira.com/>

主催: 大阪市子ども青少年局

企画・運営: (一財)大阪教育文化振興財団



おおさか

歴史探訪

149

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

戦後75年 今に残る大阪大空襲の痕跡 — 淀川河川敷の“爆弾池”

旭区と東淀川区を結ぶ菅原城北大橋周辺の淀川の河川敷には“ワンド”と呼ばれる明治時代の水制工(川岸の保護や流れの方向を整えるための構造物)により人工的につくられた入江が見られます。現在では国の天然記念物のイタセンバラという淡水魚をはじめ、多くの生き物が生息していることで知られています。

菅原城北大橋の北詰付近から東に目を向けると、“ワンド”とは様子が異なる円形や不整形の池がいくつか見えます。航空写真で見ると、付近には同じような池がいくつもあることがわかります。

調べてみたところ、これらの池は大阪大空襲で米軍機が落とした爆弾によりできたいわゆる“爆弾池”であることがわかりました。戦後まもない時期に撮影された航空写真を見ると、この付近一帯に直径15～20mほどの円形の穴がいくつも見られます。現在の写真と見くらべてみると、形状が変わっているものもありますが、多くは池の位置と一致しています。

大阪では昭和20(1945)年3月13日深夜～14日未明にかけての第1次大阪大空襲以後、計8度の空襲に襲われました。淀川周辺における大阪大空襲の様子は、昭和49(1974)年の『週刊少年キング』(少年画報社)に掲載された手塚治虫氏の読み切り作品「紙の砦」にも描かれています。当時、学徒動員のため中津の軍需工場で働いていた手塚氏の実体験をもとにしており、空襲のすさまじさと、戦争を経験していない私たち世代には想像もできない悲惨な状況が現実としてそこにあったことを、そこにいた手塚氏の心の内とともに伝えていきます。

戦後75年が経ち、戦争の痕跡は少なくなってきていますが、注意してみると意外なところに痕跡が残っています。淀川河川敷の“爆弾池”は、空襲や爆弾の威力のすさまじさをはっきりと感じさせてくれます。



淀川河川敷の爆弾池(菅原城北大橋北詰付近より)